

ポイント式点火装置への V-UP16 の対応と注意事項

ポイント式点火装置、セミトランジスター式点火装置、フルトラと呼ばれている点火装置でも通電時間制御を持たないフルトラも存在するようです。このようなフルトラ点火装置は 機械的接点（ポイント）を半導体スイッチング素子に置き換えただけで、この項目に当てはまります。

キー ON、エンジン停止状態でポイントが閉じている場合、イグニッションコイルに電流が流れつづけます。このような状態が長く続くと、コイルの発熱等でコイルの劣化を早めます。V-UP16 をポイント式点火装置に装着すると、上記理由によるコイルの劣化をさらに早めることになります。V-UP16 もオーバーロードに可能性があります。

このよう可能性がありますので条件付での販売とさせていただきます。

具体的には

キー ON でエンジンが停止している（コイルに電流が流れている）状態を長時間、続けない！
例を挙げると、キーを ON にしてから、ヘルメットやグローブを装着し、その後エンジンを始動するエンジンをアイドリングで暖気中にその場を離れ戻ったときはエンジンが停止していた。

このような使い方は避けて使用していただくことになります。

キー ON の時間が 10～20 秒くらいならば問題にはならないと思います。

また、整備中にキー ON で点検する場合は、キルスイッチを OFF にする、コイルから配線を抜くなど、イグニッションコイルに電流が流れないように対策が必要になる場合もございます。

これはポイント式点火装置の宿命として V-UP16 装着に関係なく起こることです。

ポイント式点火装置は V-UP16 装着の有無に関係なく、上記記載事項を実施したほうが良いと考えます。

使用するイグニッションコイルは

必ず、ポイント用もしくはポイント車に装着されている純正品、純正相当品を使用してください。フルトラ用コイルは、一般的にポイント用コイルに比べると、1 次側コイルの抵抗値が小さいので、電流が流れすぎコイルの発熱、コイルのやポイントの焼損の可能性が有ります。

細かなことを書きましたが、通常に使用では問題は起きておりません。

コイル劣化を早める、V-UP16 のオーバーロードの可能性がございますので、このような記載をして了解の下に販売させていただきます。

ポイント式点火装置への V-UP16 装着による効果も十分期待できます。
よろしくご検討ください。

〒491-0917

愛知県一宮市昭和 2-16-13

ワイエスディー

TEL 080-7844-3245

Mail info@ysd-e.jp